飛鳥資料館　第11回写真コンテスト「飛鳥の祭」

今年はコロナ禍により、多くの祭が中止や規模縮小になっています。こんな時だからこそ、飛鳥資料館写真コンテストでは、「飛鳥の祭」をテーマに写真作品の募集と展示をします。

飛鳥時代の都から、農村へとうつりかわってきた飛鳥の地。ここでは、四季折々、さまざまな祭がおこなわれてきました。自然に祈り、自然に感謝する村の祭。飛鳥時代の神事や歴史を偲ぶ祭。飛鳥の魅力をほりおこし、にぎわいを生み出す祭。人々の営みや祈りとともに受け継がれてきた祭は、飛鳥の歴史と今を映し出してきました。

多くの祭の開催が難しい中ではありますが、本コンテストでは、祭の写真を通して、祭に込められた人々の思いや祈りを記録して発信することで、飛鳥の人々の気持ちをつないでいきたいと思います。ぜひ皆さんが撮影した「飛鳥の祭」の写真を飛鳥資料館にお寄せください。応募写真の作品展も開催しますので、写真を通して飛鳥の祭の魅力をお楽しみいただけます。（飛鳥資料館　西田 紀子）

応募締切：2020年10月５日（月）必着（詳細はホームページ、チラシで）
展示期間：2020年10月16日（金）～12月６日（日）
来館者投票期間：2020年10月16日（金）～11月15日（日）
開館時間：９：00～16：30（入館は16：00まで）／休館日：月曜日（月曜が休日の場合は翌平日）
ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/asuka/　お問合せ：☎ 0744-54-3561

平城宮跡資料館 秋期特別展「地下の正倉院展 －重要文化財 長屋王家木簡－」

今年も平城宮跡資料館では、秋期特別展として「地下の正倉院展」を開催いたします。本年３月、文化審議会の答申により、長屋王家木簡1,669点が、国の重要文化財に指定されることとなりました。そこで今回はこれを記念し、新指定の木簡をご覧いただく展示を企画しました。

長屋王邸跡からは膨大な点数の木簡が出土しており、それらには長屋王の家族や彼らに仕えた多くの人々が現れます。邸宅内の人々に米飯を支給した伝票木簡からは、具体的な家政運営の様子が浮かび上がり、食料などを進上する際の木簡からは、長屋王家が大和国やその周辺をはじめ、各地に多くの所領を持っていた様子がうかがえます。

今回の展示を通じて、奈良時代における上級貴族の豊かな暮らしぶりに思いをめぐらせていただければ幸いです。

（都城発掘調査部　桑田 訓也／企画調整部　藤田 友香里）

会　　期：2020年10月10日（土）～11月23日（月・祝）
　　Ⅰ期：10/10（土）～10/25（日）Ⅱ期：10/27（火）～11/８（日）
　　Ⅲ期：11/10（火）～11/23（月・祝）
開館時間：９：00～16：30（入館は16：00まで）／休館日：月曜日（月曜が休日の場合は翌平日）
ホームページ：https://www.nabunken.go.jp/heijo/museum/　お問合せ：☎ 0742-30-6753（連携推進課）

■　お知らせ

YouTube 開設しました！　【公式】なぶんけんチャンネル

■　記　録

平城宮跡資料館　ミニ展示
６月16日（火）～７月19日（日）　2,846名
「古代のいのり-疫病退散！」

平城宮跡資料館　夏期企画展
７月23日（木）～８月30日（日）　3,968名
「奈良の都の考古学　発掘された平城2019」

飛鳥資料館
８月４日（火）～９月22日（火）　3,212名
「飛鳥の石造文化と石工」

編集　「奈文研ニュース」編集委員会
発行　奈良文化財研究所　https://www.nabunken.go.jp
Ｅメール　koho_nabunken@nich.go.jp
発行年月　2020年9月